

# 会 議 録

□全部記録 ■要点記録

<b>1 会議名</b>	第2回姫路市教育振興基本計画審議会
<b>2 開催日時</b>	令和元年7月30日（火曜日） 14時00分～16時07分
<b>3 開催場所</b>	姫路市役所 10階 大会議室
<b>4 出席者</b>	（出席者）姫路市教育振興基本計画審議会委員15名 （事務局）教育長、教育総務部長、学校教育部長、生涯学習部長、総務課長、 教育企画課長、教職員課長、学校指導課長、健康教育課長、 人権教育課長、教育研修課長、育成支援課長、生涯学習課長
<b>5 傍聴の可否及び傍聴人数</b>	傍聴可、傍聴人0名
<b>6 次第</b>	<ol style="list-style-type: none"><li>1 開 会</li><li>2 挨 拶</li><li>3 議 事<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 姫路の教育の目指す姿について</li><li>(2) 基本的な計画（学校教育分野）について</li></ol></li><li>4 連絡事項</li><li>5 閉 会</li></ol>
<b>7 会議の要点内容</b>	以下のとおり

事務局	<p>1 開会</p> <p>第2回姫路市教育振興基本計画審議会を開会する。</p>
教育長	<p>2 挨拶</p> <p>委員の皆様には、御多用のところにもかかわらず、御出席いただき感謝する。</p> <p>前回の審議会では、姫路を愛し、姫路で働く子供たちを育成するような、姫路独自の取組がもう少しあってもいいのではないかと、不登校や引きこもりが多い中で、そういった子供への支援や、学び直しの場の確保などが大事になってくるのではないかと、地域が衰退していることに対応するキーワード的なものを入れられないかと、指標の目標設定がその後の状況変化で時代と合わないということも出てくるので、次期計画ではその辺りも踏まえていきたい、などの御意見をいただいた。</p> <p>本日は、二つの議題について協議いただきたいと考えている。</p> <p>1点目の「姫路の教育の目指す姿」については、国や県の基本計画や時代の潮流などを踏まえながら、基本理念、目指す人間像、基本目標について、御意見をいただきたいと考えている。次期計画については、現行計画を継承しつつ新たな要素を加味したものとしたいと考えているので、現行計画をベースとしながら御審議いただければと考えている。</p> <p>2点目の「基本的な計画（学校教育分野）」については、基本的政策、政策、施策、事業について、現行計画から少し、体系や事業を変更したいと考えているので、その辺りについて御意見をいただきたいと考えている。</p> <p>委員の皆様には、それぞれのお立場からの知見などを基に、お力をお貸しいただくようお願いし、開会に当たっての挨拶とさせていただきます。</p>
事務局	<p>会議に先立ち、第1回審議会の資料について、差替えがあるため、事務局から説明したい。</p>
事務局	<p>【資料7】説明</p>
会長	<p>(公開可否の決定)</p> <p>本日の審議会は、異議がなければ公開とするがよいか。</p> <p>(異議なし)</p>

<p>会長</p>	<p>異議なしと認めて公開とする。</p> <p>(第1回会議録の確認)</p> <p>前回の会議録を確認する。</p> <p>委員の皆様には、事前に第1回審議会の会議録(案)をお送りしているが、これについて修正等、何か意見はあるか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>会議録として決定する。</p>
<p>会長</p>	<p>3 議事</p> <p>まず、「議事(1) 第2期「姫路市教育振興基本計画」の策定方針等について」事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>議事(1) 第2期「姫路市教育振興基本計画」の策定方針等について説明</p> <p>〔資料1〕基本理念及び目指す人間像について</p> <p>〔資料2-1〕基本目標と計画体系について</p> <p>〔参考資料1〕第3期教育振興基本計画(概要)</p> <p>〔参考資料2〕第3期「ひょうご教育創造プラン(兵庫県教育基本計画)」</p> <p>〔概要版〕</p>
<p>会長</p>	<p>基本理念は変わらないが、サブタイトルを工夫したいということで2案が示されている。御意見をいただけたらと思っている。</p> <p>次の目指す人間像についても、それぞれの説明文を御覧いただきながら、御意見をいただきたい。</p> <p>そして、基本的政策は三つあるが、一つ目の学校教育についての御意見をいただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>前回のサブタイトルから、新しい言葉が入っているなど変更があるが、どのような考え方でそうなったかなど、細かく説明してほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>具体的にということではないが、昨年、国において、昨年度末、県において、それ</p>

	<p>ぞれ新しい教育振興計画が策定された。それぞれの計画の中で大切にしているもの、新しく取り組んでいこうとしているもの、そういったものを参酌しながら、姫路市で進めていきたい取組に関するキーワードを拾っている。</p>
会長	<p>姫路の教育政策、例えば、象徴的なものとしてここ（資料）にもあらわれているが、個々人が自立する、主体性を持って自立するというのが挙がっている。もう一つの大きなポイントとして、ダイバーシティがある。様々な個性を持つ方が住む社会、多様性が形成される社会、そういう理念が国や県の計画に出てくる。姫路もそれを受けているというところがある。</p>
委員	<p>新しい言葉が出てきたんだろうというところで聞きたかった。</p>
委員	<p>「自立し、認め合い」ということが出たが、その認め合いは、社会の中でという意味でふさわしいと思うが、それだけの意味だけでなく、もっと様々な人たちの色々な考え方があ、考え方が同じであっても相容れないということがある。そこを考えると、むしろ「認め合う」という言葉が全てに当てはまるのかなと思う。「尊重」とか「協働」とかの方が当てはまるのではないかという気がした。</p>
事務局	<p>「尊重」、「協働」は双方重要なキーワードと思っており、目指す人間像、その解説文に入れることで整理させていただいている。尊重する、協働するための前提として「認め合う」という言葉をサブタイトルに入れさせていただいた。</p>
会長	<p>互いの個性や違いを尊重すること、認め合うということ。</p>
委員	<p>認め合う行為があって、互いを尊重する方向に流れていくということかと思う。</p>
委員	<p>基本理念とサブタイトルと目指す人間像は密接に関わってくるが、サブタイトルについて案1の「新たな価値を創造する」は現在のタイトルにはない。非常に前向きで良い表現だと思う。人口減少、技術進歩、グローバル化の中、協働していかなければならないという世の中になっているので、そのような言葉が入るのは良いのではないかと思う。</p>

会長	資料1も引き続き御意見をいただきたいが、資料2-1の基本的政策などにも御意見をいただきたい。
委員	サブタイトルについて、「新たな価値を創造する」ということは非常に大事と思うが、それと同時に「つながる」ということも大事ではないか。少子化で一人っ子が増え、みんなで一緒に何かをするということがなかなかできにくくなっている。昨今、予測不能な災害も起きる中、絆が大事にされてきている。案1もとても良いが、案2の「つながり」を入れてほしいなと感じる。
委員	案1も良く練られていて素晴らしいと思う。しかし、目指す人間像と少し重複する感じがあるので、結論として案2が良いと思っている。現在の「高め合う」が非常に良いと思うので、その言葉を入れて欲しい。そして、「自立し」は残してほしいと思う。
会長	色々な御意見をいただいた。基本理念、目指す人間像に加え、基本的政策についても御意見をいただければと思う。
会長	基本的政策2の「いきいきとした生涯学習社会の実現」、前回と同じタイトルだが、どういうことを実現したいか。
事務局	「いきいきとした生涯学習社会の実現」には色々な要素が含まれる。事務局で検討した際に、第3期の国の計画にも引き続きこの言葉が採用されていたことも考慮し、姫路市としても引き続き同じタイトルとしたいと考えている。ただし、各事業レベルでその取組内容に軽重をつけて、特色を出しながら取り組んでいきたいと考えている。
会長	生涯学習社会という言葉について。1980年代では、学びは学校教育だけで行われるもので、学校を出たら仕事をし、社会に出てから学ぶということは意識してなかった。しかし、その後、一生涯学び続けることができる社会を作らなければならないという目標、考え方が出てきた。それが完全にできたとは思わないが、その意識やその仕組みはかなり充実してきている。ただ、今、社会のニーズや環境が変わりすぎてきている。例えばSociety5.0等に対応するための学びが必要という意味合い、環境に応じた

	<p>学びが必要という意味合いで生涯学習社会という言葉があるのかと思った。</p>
会長	<p>歴史文化の継承と市民文化の醸成、ここに姫路城が出てくる。良いことだと思うが、普通は固有名詞がでてこない。やはり姫路城の存在は大きいということか。</p>
事務局	<p>グローバルという観点からも姫路城の存在は大きいため、その言葉を取り入れた。もちろん姫路の歴史文化資源はそれだけではないので、「姫路城をはじめとする」という表現にしている。</p>
会長	<p>2番目の議事に移る。</p>
事務局	<p>議事(2) 基本的な計画（学校教育分野）について説明</p> <p>〔資料2-2〕第2期計画における特徴的又は重点的な取組の方向性について</p> <p>〔資料3〕計画体系図 新旧比較表</p> <p>〔資料4〕第2期「姫路市教育振興基本計画」における施策・事業について</p>
会長	<p>資料3の計画体系では、施策をより細分化されることで、その目的をより明確にしている。現行の計画では基本的政策1について、一つの施策に19の事業が付いていたが、今回は、施策を組み直して、事業数のバランスを取っている。</p> <p>また、資料4で参考としている部分があるが、それはどういう意味か。</p>
事務局	<p>資料4で参考となっている箇所は、個々の事業の詳しい内容について記載している部分である。個々の事業については審議の対象としていないため参考としている。計画体系、施策を審議していただくときに事業の内容を参考にさせていただくという意味で記載している。</p>
会長	<p>次回の審議では、この施策に指標を付けたものが出てくるということになる。今回は事業の内容は参考にさせていただくということである。</p>
委員	<p>幼稚園の立場で資料を見ている。資料3は見やすく整理されたなと思う。例えば、就学前教育も、どのような方向性で何を目指すかが分かりやすくなっていると思う。</p>

施策1-5に「就学前教育の推進」と記載されて分かりやすくなった。資料4の6ページ、施策1-4「異校種間連携の強化」に、施策目的として「就学前から高等学校まで」と明記されることで、中身を詳細に見ていなくても一目で分かるし、それによって我々も就学前からの教育が高等学校にまでつながっていくことを保護者等にも説明しやすくなっている。また、7ページの参考部分に今後進めていく、検討していく具体的なところがよく示されていると思う。

基本理念のサブタイトルに今の計画にも「学び、つながり、高め合う教育を目指して」とあるが、就学前の教育では「必要な経験を通して」とよく言っているが、その経験がどこにつながるのかということについては、「学び」という言葉が出てくることで、学びにつながるのだと、様々な場で、保護者等にも説明できる。そのため、今回は2案あるが、どちらがということではなく、サブタイトルには具体的な言葉が示される方が良いと思う。

また、「つながる」「自立」という言葉もとても大事だと思う。子供は就学前から将来の「自立」に向かって学んでいるのだということをしかりと押さえなければならぬし、「つながり」は、幼と小、小と中、中と高といった、各々の段階でまだまだ取り組んでいかなければならない大事なところだと思っている。

委員

特別支援教育の立場から発言する。資料8ページについて、通常は個別の指導計画と個別の教育支援計画が並ぶ場合は、個別の教育支援計画の方が大きいイメージなので、入れ替えて、先に支援計画、次に個別の指導計画の順でいいのかなと思っている。その下の参考部分は審議事項ではないが、特別支援教育のキーワードとして、「自立」と「社会参加」、「社会的自立」といった言葉が出ているので文言を少し整理した方がいいのかなと思う。また、「心の通う共同及び交流学习」「心のバリアフリー」であったり、すぐに授業に入りにくい子供たちに個々に応じて教える「通級」を進めていく時代なので、その辺の言葉も入れていただければ非常にありがたいと思う。

資料3の施策1-6が特別支援教育とされているので分かりやすくなっている。その③の部分に「特」のマークが入っていないのは理由があるのか。また、書写養護学校の充実という言い方は少し分かりにくいので、あくまで参考意見であるが、例えば、「書写養護学校の教育力の向上」などと、分かりやすくしていただければと思う。

サブタイトルは案2がいいと思っている。現行の「高め合う」もとても大事な視点で、大好きな言葉だが、特別支援教育では互いに認め合うというところがある。また、

	<p>目指す人間像でも、年齢、国籍、性別、障害等、多様な人がいる中で互いに認め合うというところが説明で取り上げられている。今回、「高め合う」が「認め合う」になると、新旧で比べても分かりやすいと思う。</p>
事務局	<p>質問のあった資料3のマークは、資料2-2の特徴的な取組に関連する主な事業を、大体三つくらいを基準に選んで記している。</p> <p>また、参考部分の事業内容は完成しているものではないので、改めて次回以降に示していきたい。</p>
会長	<p>今、委員からいただいた意見に関連して、資料4の6～8ページ、就学前相談のところの「特」はどのようなところが特徴的なのか。</p>
事務局	<p>特徴的、重点的に進める取組の一つである特別支援教育を充実する上で、施策の目的の内容とも照らし合わせると、「就学前相談、就学指導の充実」事業も、主な事業の一つとなると考えたため、マークを付けている。</p>
事務局	<p>資料3のマークについて、これは資料2-2にある第2期計画での特徴的、重点的取組は施策レベルと考えているもので、事業ごとにマークがついているが、施策レベルに含まれているというところで捉えており、個々の事業ごとに特徴的なものと捉えているわけではない。</p>
会長	<p>しっかり推進するというところで特徴的なところを示したのは良いが、三つの基本的政策があって、施策が展開されているので、いずれにしろ、施策を達成できるような事業でないと意味がないと思う。マークのないところは関係ないということではないという認識でよいか。</p>
事務局	<p>御認識のとおり、関係ないということではない。例えば ICT の利活用について関係する事業全てにマークを付けると、殆どの事業に I マークが付くことになるので、ICT の利活用を推進する取組に関連する主だった事業にマークを付けている。</p> <p>また、今回の審議において、委員の皆様の特徴的な取組はどれかということを知りやすくするために付けているものなので、計画の完成版では、マークは外していく</p>

会長	<p>つもりである。</p> <p>私の言い方が分かりにくかったかもしれないが、一つの施策がきちんとできているので、そこに別の要素を持ってきたら、整理しないと分かりづらいと思うので、最終的にマーク外すのであれば、それで良いかと思う。</p>
委員	<p>私の思い込みかもしれないが、前回、施策1－3「組織としての学校力の向上」があったが、今回、施策名からはなくなって二つか三つの具体的な施策になっている。しかし、組織としての学校力は非常に重要だと思う。何か問題や事件が起きたとき、個人対応で終わってしまうのか、個人レベルの問題として捉えるのか、そうではなく、学校組織として対応していくということを明確に示すことが重要だと思う。組織で対応することを示すことにより、前向きな対応をしているのが分かるのではないか。先生方の研修を増やすとか書かれているが、個人としてでなく学校としてこういうことをすると明確に示すことによって、事件等の未然防止につながるのではないかと思った。</p>
事務局	<p>第1期計画では組織対応については、施策1－3に入れていたが、次期計画にもその考え方はしっかり入れていきたいと思っている。今回、施策を細分化したことによって、例えば、特別支援教育からみた組織対応、生徒指導からみた組織対応というように、それぞれの視点に応じた組織的な対応が重要であると考えている。委員御指摘のとおり組織的な対応は非常に重要であると考えている。</p>
委員	<p>こういう計画を作るときに、基本理念と目指す人間像が施策、事業にどうつながるか、なかなか見えにくいところがある。例えば、県は明確に働き方改革が示されている。企業は社員に対し、資質向上も一方で当然あるが、時間外勤務は年間360時間に合わせていきたいと思いますといったところがある。今の時点では、学校の先生は扱いが別になっているところもあると思うが、あと1、2年で環境が大きく変わる可能性があるときに、現場にいる先生の適正労働は、サラッと書いているが、今後、非常に大きな課題になってくるのではないかと思う。人員も、指導も、そこをICTで切り抜けるのかもしれないが、要望を切り分けるとか、もう少し大きな課題として取り上げる方が良いのではないか。子供の教育のための計画なので、どうしても書きにくいところ</p>

	<p>はあると思うが、子供のためには先生の働き方を入れていくというのは数年間の計画でしっかり入れる必要があると思う。</p>
委員	<p>私も学校現場にいた者として発言するが、若い先生は年休をなかなかとらない。年休の取得率を高めることが大事と思う。</p>
教育長	<p>働き方改革は、非常に大きな問題であると認識している。しかし、委員の御指摘のとおり、このような計画で大きく取り上げるのはどうかという思いがあるのも事実であるが、今年度からお盆に閉校日を初めて設けるなど、新しい取組も考えているので、取り上げるよう努力したいと思う。</p>
会長	<p>施策1－9に教員の働き方改革に係る内容がある。教員に余裕が生まれたら指導力が上がる。指導力が上がれば子供にも良い環境になる。このような内容は政策2の教育環境に入るように思う。検討していただきたい。</p>
教育長	<p>検討したいと思う。</p>
委員	<p>資料4に学び直しに係る記述などをきちんと入れていただいてありがたい。また、施策1－8の生徒指導のところ、子供の虐待も多くなっている。親の体罰も禁止になったし、子育て放棄とか、そういったことについて御検討いただければと思う。例えば、早期発見、なかなか分からない部分もあるし、地域の見守り、連携も表現していくのが大事ではないか。1－8に入るか2－3に入るか、分からないが、そういったところと考えるのが大事ではないか。</p>
教育長	<p>教育だけではなかなかできない部分があるので、市長部局との結びつきを強くしてやらなければならないと考える。</p> <p>社会的に重要な問題であるということ、どこかに入れていきたいと思う。</p>
会長	<p>虐待の報告は今でも役割が決まっていますやっていると。</p> <p>施策1－1から1－9は整理して良くなったが、少し気になるのが、施策1－7「特色ある教育の推進」。これはどれも特色があるのではないか。</p>

事務局	<p>御指摘のとおり、他の施策とまとめ方が少し異なっている。これらはいわゆる課題教育の部分である。現在、学校においては〇〇教育と称するものが非常に沢山あり、学校が負担になっているところがある。それらをカリキュラム・マネジメントにより、整理しながら、できるだけ効率的に推進していきたいところが施策1-7である。</p>
委員	<p>今回は学校教育の部分に「家庭教育」の文言がないように思う。家庭教育は学校教育に関係していくので、どこかに入れていただきたい。</p>
事務局	<p>施策2-3地域等の「等」の中に「家庭」が含まれているが、「家庭」という言葉が書かれていないことについては事務局で検討したい。</p>
委員	<p>勇気を持って言うが、地域の掲示板にポスターが貼られていて、それを見ると、和辻哲郎文化賞をまだやっている。市政100周年で始まったと思うが、予算を使ってまで、姫路市民に文化的寄与しているのか疑問がある。</p>
教育長	<p>おっしゃるとおり、和辻哲郎文化賞については100周年に始まったとのことである。30年が経ち、全国的に知名度が上がり、哲学をする者にとってはこの賞が名誉なことである。和辻哲郎の作品を子供たちが読む機会は減っているなので、そこも含めて発展させていきたいので御理解いただきたい。</p>
委員	<p>資料3の施策1-4でひめじ教育フォーラムの開催が削除となっているが、現在の計画では、この事業の目的がとても良いと思っている。学校教育と家庭教育との連携の在り方や地域と協働した子育てについて共通理念を持つということが大事だと思う。新しい計画においても、それを情報共有するようなイベントや説明があればいいと思う。</p> <p>また、サブタイトル案1について、委員がおっしゃった「つながり」の話を聞いていたら大事だと思った。</p> <p>政策1と政策2の間に壁があるような、学校とそれ以外に分けられているように見える。地域から学校に対する支援というのはよくあるが、地域から学校への一方通行</p>

事務局	<p>のような気がしているので、どこかに、学校と地域が共に取り組むといった施策があってもいいのではないかと思う。</p>
事務局	<p>決して一方通行にしようとは考えておらず、施策2-3の学校支援体制の強化において、学校と地域と保護者が一緒になって取り組むことを考えている。</p>
事務局	<p>姫路教育フォーラムについて、このフォーラムとは別に、姫路教育メッセを開催しており、施策1-9-⑤「教育情報の収集及び発信」に記載されている。そのメッセに色々な講座を持ったりすることによって地域との交流の場を持つことは可能であるので、そのような形に作り変えるなど工夫しながら、また、姫路教育フォーラムの役割も持たせるようにしていきたい。</p>
事務局	<p>地域の連携というところ、資料2-2の下から2つめの段落を御覧いただくと、「地域が人を育て、人が地域をつくる」という好循環を実現することが、地域に愛着を持ち発展の担い手となる人材の育成につながるということで、連携強化体制の構築が大事と認識している。あくまで参考であるが、資料4の20ページを御覧いただくと、2-3-③において、学校と地域による地域連携・協働活動を推進し、地域の未来を担う子供たちの学びや成長を支えるということで、一方通行ではなく、人材育成することで結果として地域に貢献できるという考え方をしている。</p>
委員	<p>地域と連携していく場合に、教員の働き方改革が一方であるので、地域コーディネーターといった、両立するようなものがあるのだろうか。</p>
事務局	<p>今、義務教育学校に地域コーディネーターを配置し、学校運営協議会を設置して、地域との橋渡しをしてもらっている。それ以外の学校にも、全てに地域コーディネーターがおけたらいいが、それがなかなかできない中で、地域を巻き込んだ展開を作るために、働き方改革に逆行しているかもしれないが、教員の力を少し割り振っていただき、地域の力を学校にいただきながら、それを地域に返していくという好循環が生まれればと考えている。</p>

事務局	<p>少し補足をする。資料 2-2 の下から三つめに、学校及び教職員が担う業務の明確化・適正化について触れている。そこに、外部人材の活用であるとか、地域の方の力を活用させていただく、例えば、部活動支援員やスクールサポートスタッフなど、どこまで細かく書くかは別にして、そういう考え方は盛り込んでいる。</p>
会長	<p>本日出た多様な意見は事務局で整理していただきたい。 議事を事務局にお返しする。</p>
事務局	<p>4 連絡事項 次回、第 3 回審議会は 8 月 19 日（月）午後 2 時からを予定している。</p>
事務局	<p>5 閉会 以上で本日の審議会を終了する。</p>